

# 2012年3月期 決算説明会

JASDAQ 証券コード : 6879

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

**Imagica Robot Holdings Inc.**

2012年5月29日 (火)

# 目次

---

1.	2012年3月期 連結業績 (旧フォトロンとの比較)	P.2
2.	2012年3月期 連結業績 (旧IRHDとの比較)	P.7
3.	2013年3月期 計画	P.12
4.	事業セグメント別 総括と計画	P.17
5.	参考資料	P.27

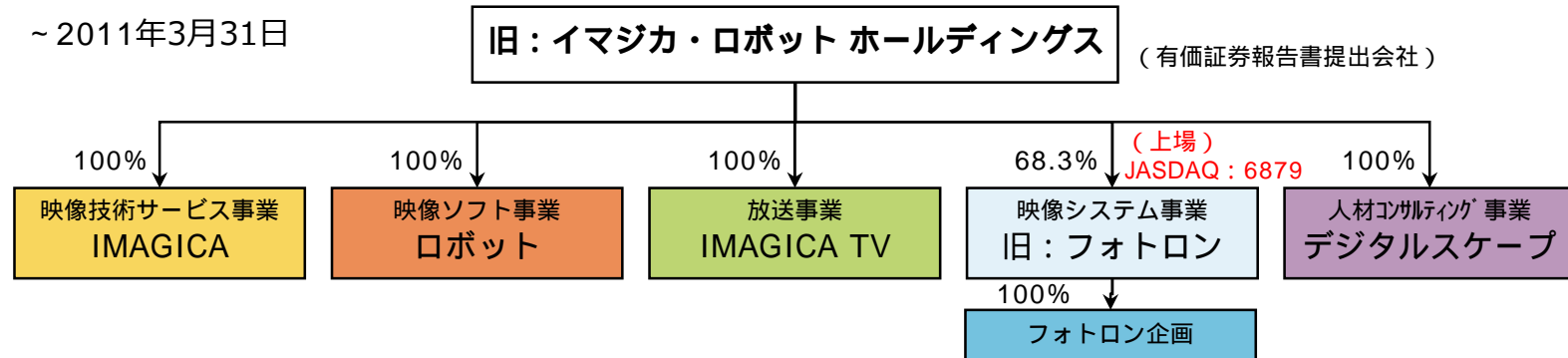
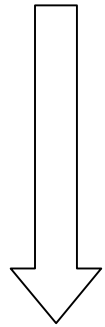
---

# 2012年3月期 連結業績

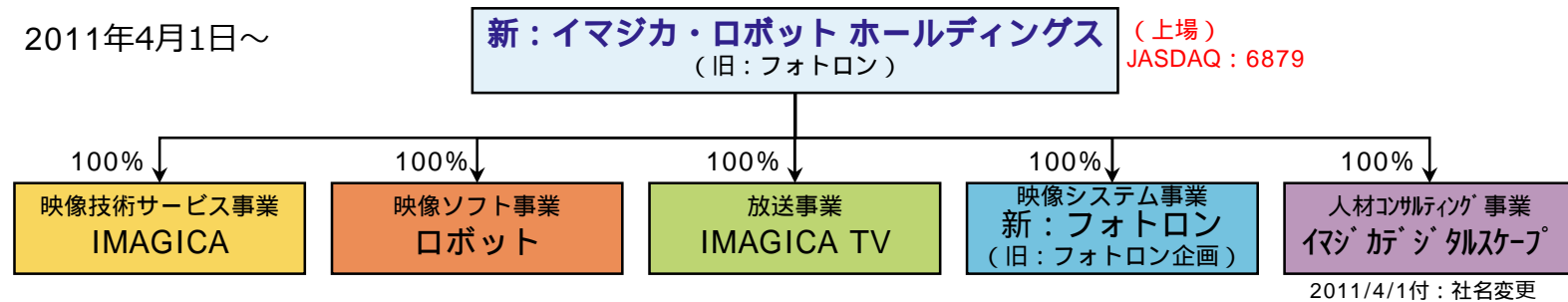
(旧フォトロンとの比較)

# グループ組織再編 (2011/4/1付)

< 旧：体制 > ~2011年3月31日



< 現：体制 > 2011年4月1日～



事業会社5社を完全子会社化

- ・人材活用、資金調達の効率化
- ・グループ内協業による事業拡大

イマジカ・ロボットホールディングス上場

- ・旧：フォトロンの少数株主の保護
- ・親子上場の課題解消
- ・資金調達の強化、管理コストの削減

【旧:フォトロンとの比較】

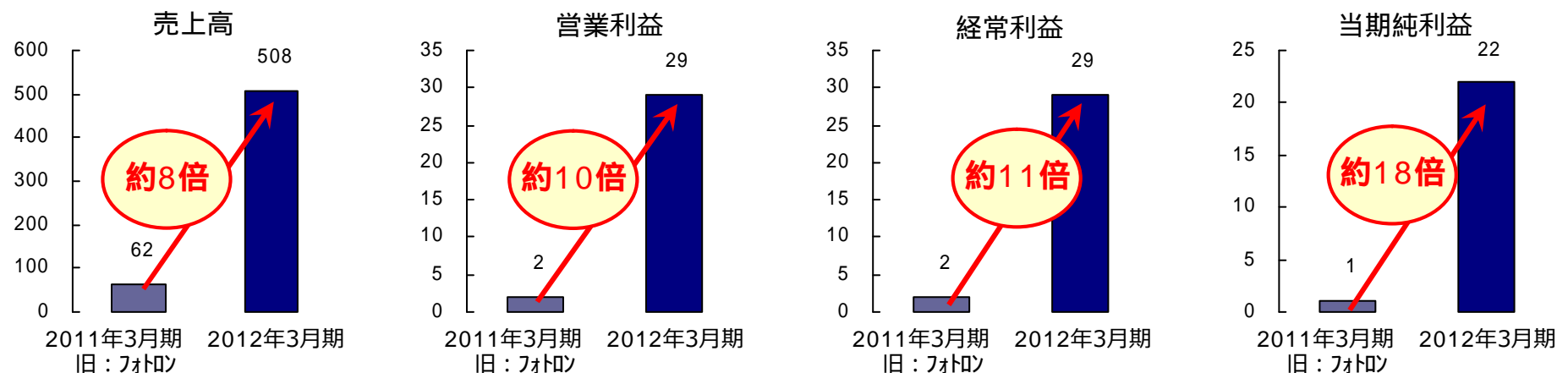
# 2012年3月期 連結損益実績

## グループ組織再編により企業価値が向上

(単位 百万円)

	2011年3月期 (旧:フォトロン)	2012年3月期	
	通期実績	通期実績	前期比
売上高	6,233	50,865	+716.0%
営業利益	296	2,935	+891.4%
経常利益	282	2,980	+954.9%
当期純利益	121	2,222	+1,735.6%

(単位:億円)



【旧:フォトンとの比較】

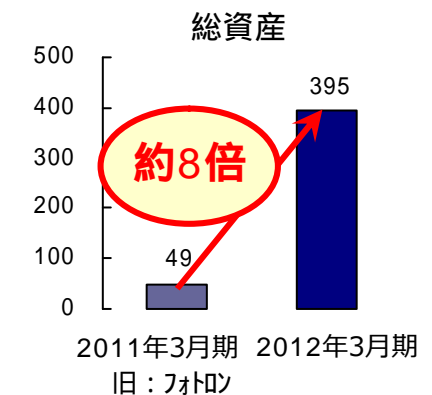
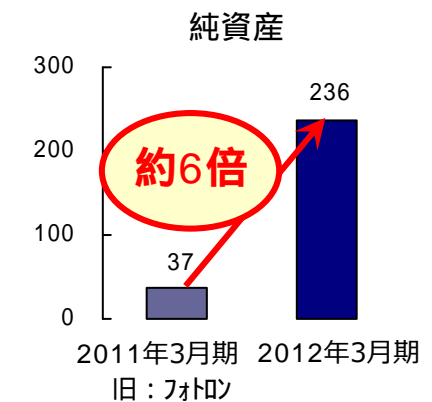
# 2012年3月期 連結貸借対照表

## グループ組織再編により資産規模が大幅に拡大

(単位:百万円)

(単位:億円)

	2011年3月期末	2012年3月期末	
	(旧:フォトン)		前期末比
流動資産	4,115	24,937	+20,821
うち現預金	1,837	8,791	+6,953
固定資産	873	14,636	+13,763
資産合計	4,989	39,573	+34,584
流動負債	1,063	12,899	+11,836
固定負債	141	3,033	+2,892
負債合計	1,205	15,933	+14,728
株主資本	3,874	23,542	+19,667
少数株主持分	132	148	+15
純資産合計	3,784	23,639	+19,855



【旧:フォトンとの比較】  
(ご参考)

# 当社株式関連指標

グループ組織再編により、1株あたり利益も大幅に拡大

区分	EPS (1株あたり利益)	PER (株価収益率)	BPS (1株あたり純資産)	PBR (株価純資産倍率)
2012年3月期 通期実績	56.43	7.62 (注1)	596.63	0.72
2011年3月期 通期実績 旧:フォトン	16.59	24.11 (注2)	500.38	0.80

(注1) 2012年3月30日終値(430円)を用いて算出しております。

(注2) 2011年3月31日終値(400円(旧:フォトン))を用いて算出しております。

---

# 2012年3月期 連結業績

(旧IRHDとの比較)



# 連結業績ハイライト

**売上高 508億65百万円** : 前年比+0.1%、前年差異+47百万円

映像システム事業：前年差異+5億円\* 高速度ビデオカメラ、CADソフト販売伸長 (\* = 外部売上)  
 人材コンサルティング事業：前年差異+7億円\* ゲーム制作大型案件受託  
 映像ソフト事業：前年差異△9億円\* 震災の影響により上期にCM案件が減少、下期回復もカバーしきれず

**営業利益 29億35百万円** : 前年比△16.2%、前年差異△565百万円

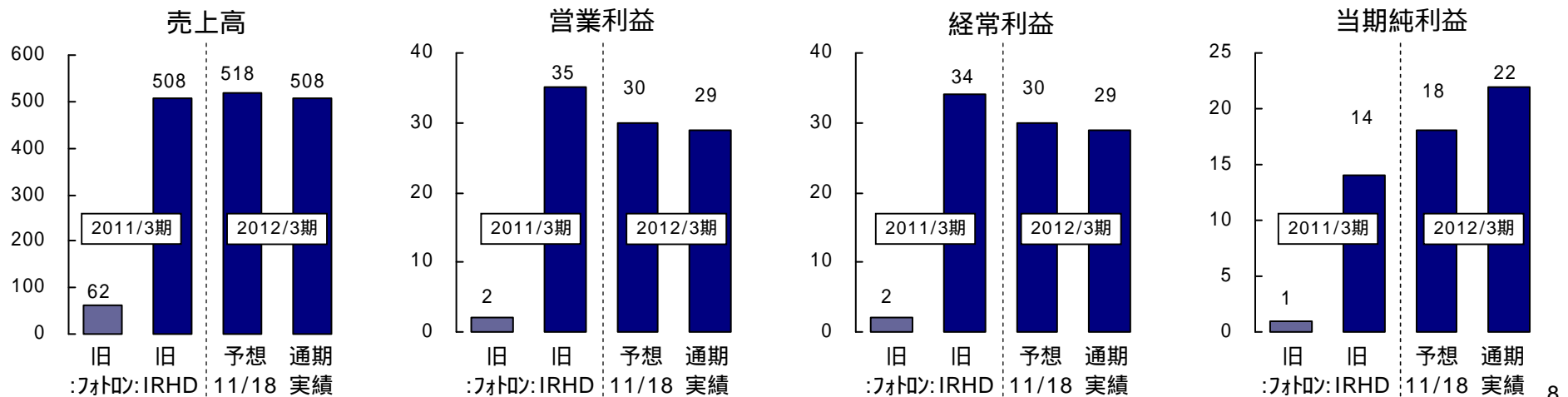
放送事業：前年差異△3億円 BSデジタル放送開局でプロモーション活動を積極的に展開

**経常利益 29億80百万円** : 前年比△14.1%、前年差異△489百万円

**当期純利益 22億22百万円** : 前年比+57.3%、前年差異+809百万円

グループ再編で発生した負ののれんを一括償却、繰延税金資産の計上

(単位：億円)



# 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期 (旧:IRHD)	2012年3月期		
	通期実績	業績予想 (11/18修正)	通期実績	前期比
売上高	50,817	51,800	50,865	+0.1%
売上総利益	14,311	-	14,347	+0.2%
営業利益 (営業利益率)	3,501 (6.9%)	3,000 (5.8%)	2,935 (5.8%)	16.2%
経常利益 (経常利益率)	3,469 (6.8%)	3,000 (5.8%)	2,980 (5.9%)	14.1%
特別損益	888	-	268	69.8%
税金等調整前 当期純利益	2,581	-	2,711	+5.1%
少数株主損益調 整前当期純利益	1,459	-	2,214	+51.8%
少数株主利益	46	-	7	-
当期純利益	1,412	1,850	2,222	+57.3%

## 主な増減の要因

(営業利益)

BS開局に向けた販促増強等の販管費増

(特別損益)

特別利益:2億15百万円  
グループ再編で発生した負ののれん一括償却1.7億円他特別損失:4億84百万円  
遊休土地等の減損損失1.1億円  
退職給付制度改定損 1.1億円  
ゴルフ会員権評価損 0.9億円他

繰延税金資産の計上 △6.2億円

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2011年3月期末	2012年3月期末	
	(旧:IRHD)		前期末比
<b>流動資産</b>	25,239	24,937	302
<b>うち現預金</b>	10,329	8,791	1,538
<b>固定資産</b>	14,323	14,636	+312
<b>資産合計</b>	39,563	39,573	+10
<b>流動負債</b>	15,370	12,899	2,470
<b>固定負債</b>	2,647	3,033	+386
<b>負債合計</b>	18,017	15,933	2,083
<b>株主資本</b>	20,622	23,542	+2,920
<b>少数株主持分</b>	1,236	148	1,087
<b>純資産合計</b>	21,545	23,639	+2,094

## 主な増減の要因

(流動負債)  
借入金の減少

(固定負債)  
放送事業分野における新規リース債務及びBS放送参入金の長期未払金の計上

(株主資本)  
グループ組織再編により資本金/資本準備金の増加及び当期純利益の計上

(少数株主持分)  
グループ組織再編による外部株主持分減少

【旧:IRHDとの比較】

# 連結キャッシュ・フロー計算書

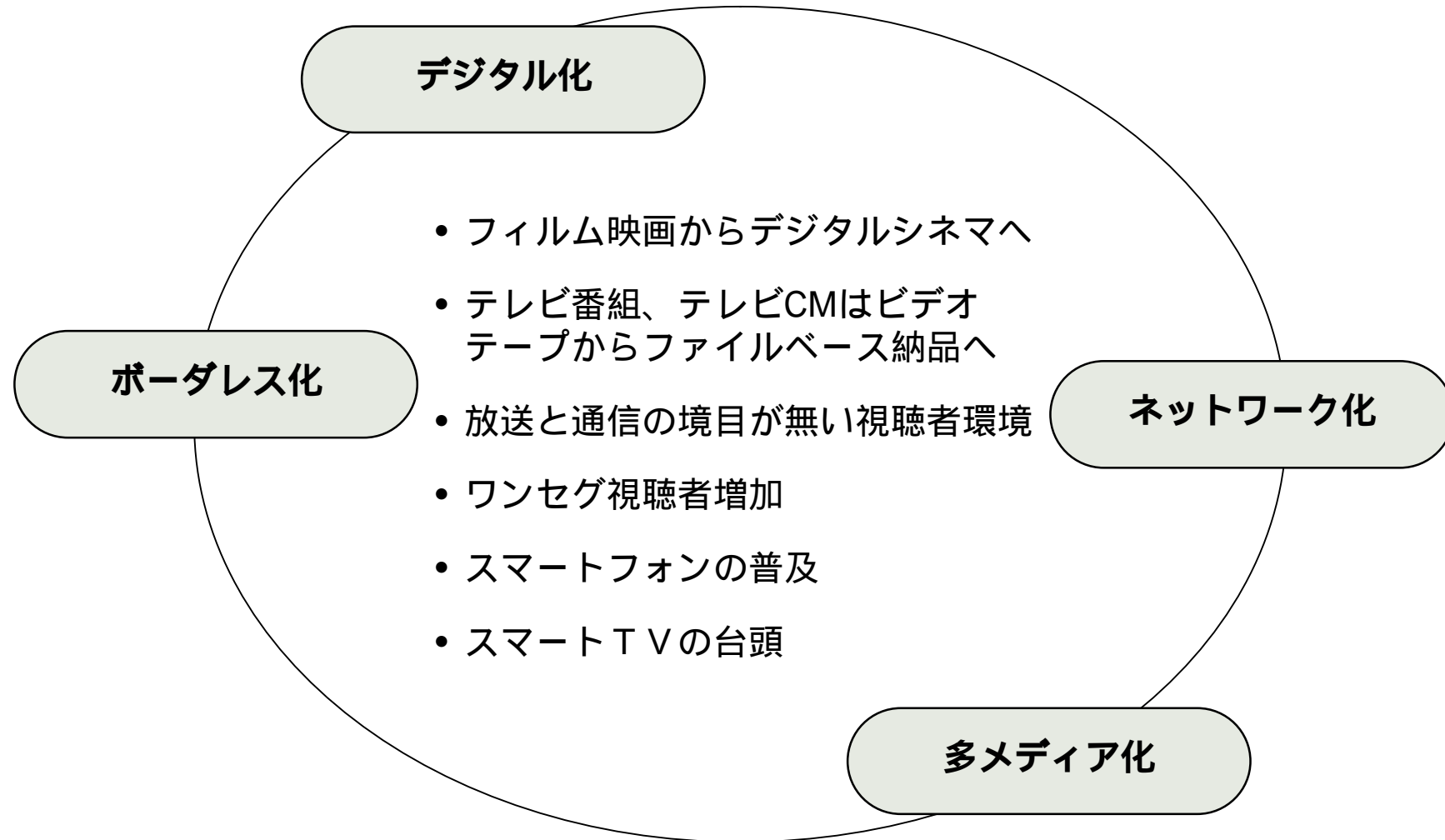
(単位:百万円)

	2012年3月期	主な内訳
現金および現金同等物の 前期末残高	10,329	
営業活動による キャッシュ・フロー	2,902	
投資活動による キャッシュ・フロー	1,510	(投資活動によるキャッシュ・フロー) デジタル関連設備への投資 BS放送参入金の支払
財務活動による キャッシュ・フロー	2,952	(財務活動によるキャッシュ・フロー) 短期借入金の減少 △11.8億円 長期借入金の返済 △16.0億円
現金および現金同等物の 増減額	1,538	
現金および現金同等物の 期末残高	8,790	

---

# 2013年3月期 計画

# 事業環境

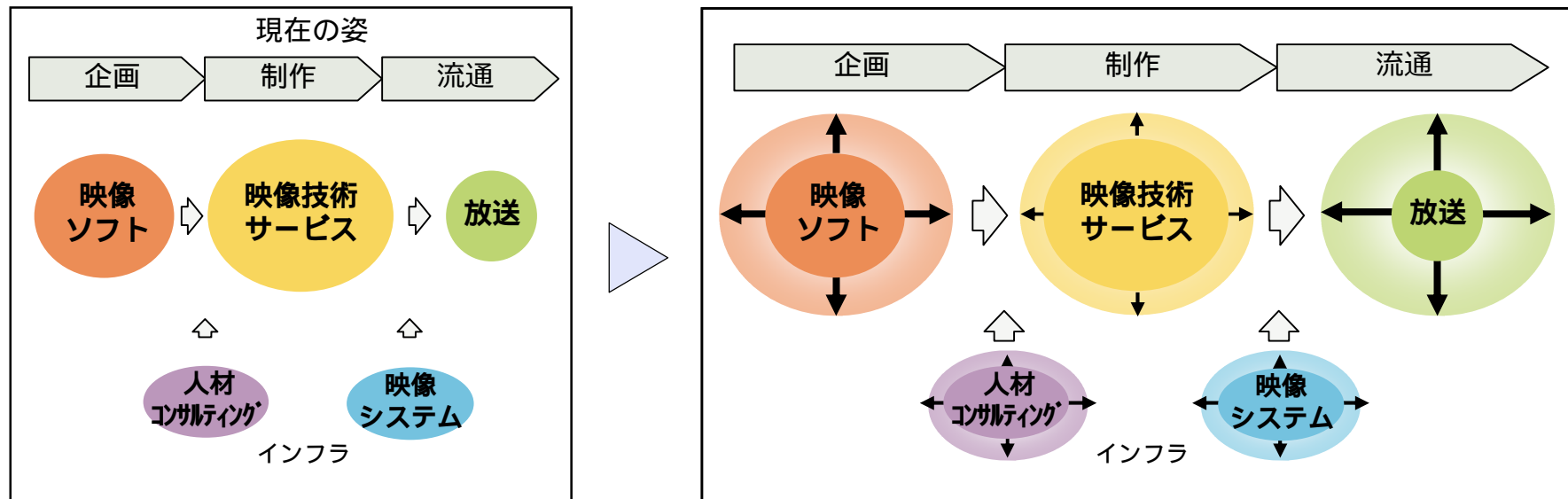


「B to B」 「B to C」ビジネスの可能性

# 今後の方向性

バランスが取れ、より一貫性のあるバリューチェーンへ  
成長市場の事業拡大

売上高のサイズイメージ図



**「映像ソフト事業」・「放送事業」を  
重点事業分野として拡大**

# 2013年3月期 計画 主要テーマ

---

**オリジナルコンテンツの開発等、  
ライツビジネス展開を進めるとともに  
海外（アジア）市場での事業へ参入**

**3月に新規開局した BS放送事業の確立**

**事業ポートフォリオを強化するM&Aの推進**



# 2013年3月期 連結損益計画

**売上高 547億円：前年比+7.5%、前年差異+38億34百万円**

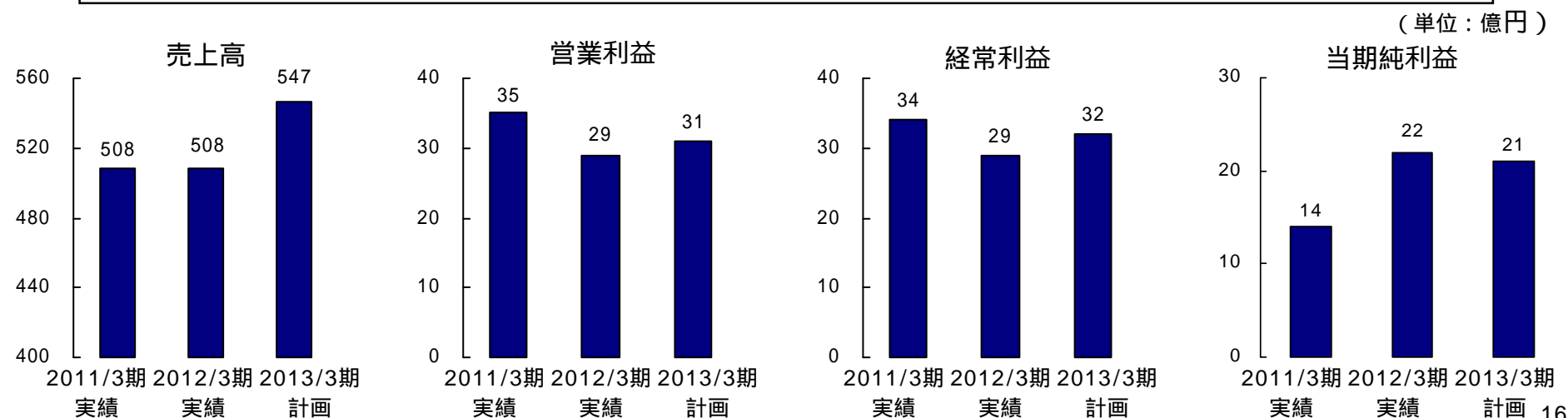
映像ソフト事業（前年差異+15億円）CM制作強化および大型劇場映画制作  
放送事業（前年差異+7億円）BS放送事業へ進出

**営業利益 31億円：前年比+5.6%、前年差異+1億64百万円**

放送事業で本年3月開局BS放送の費用が増加するが、他事業が伸張し増益

**経常利益 32億円：前年比+7.4%、前年差異+2億19百万円**

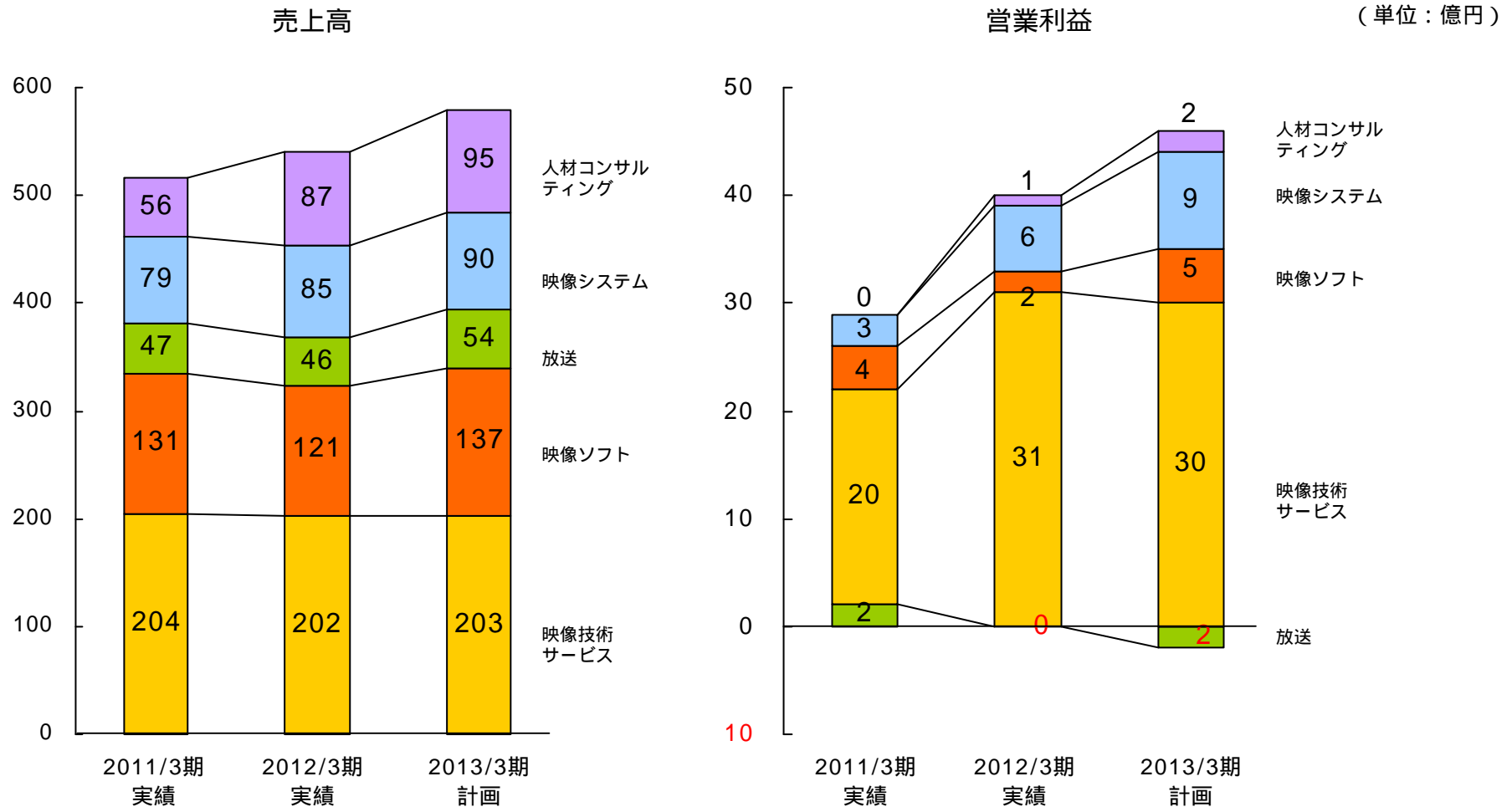
**当期純利益 21億円：前年比△5.5%、前年差異△1億22百万円**



---

# 事業セグメント別 総括と計画

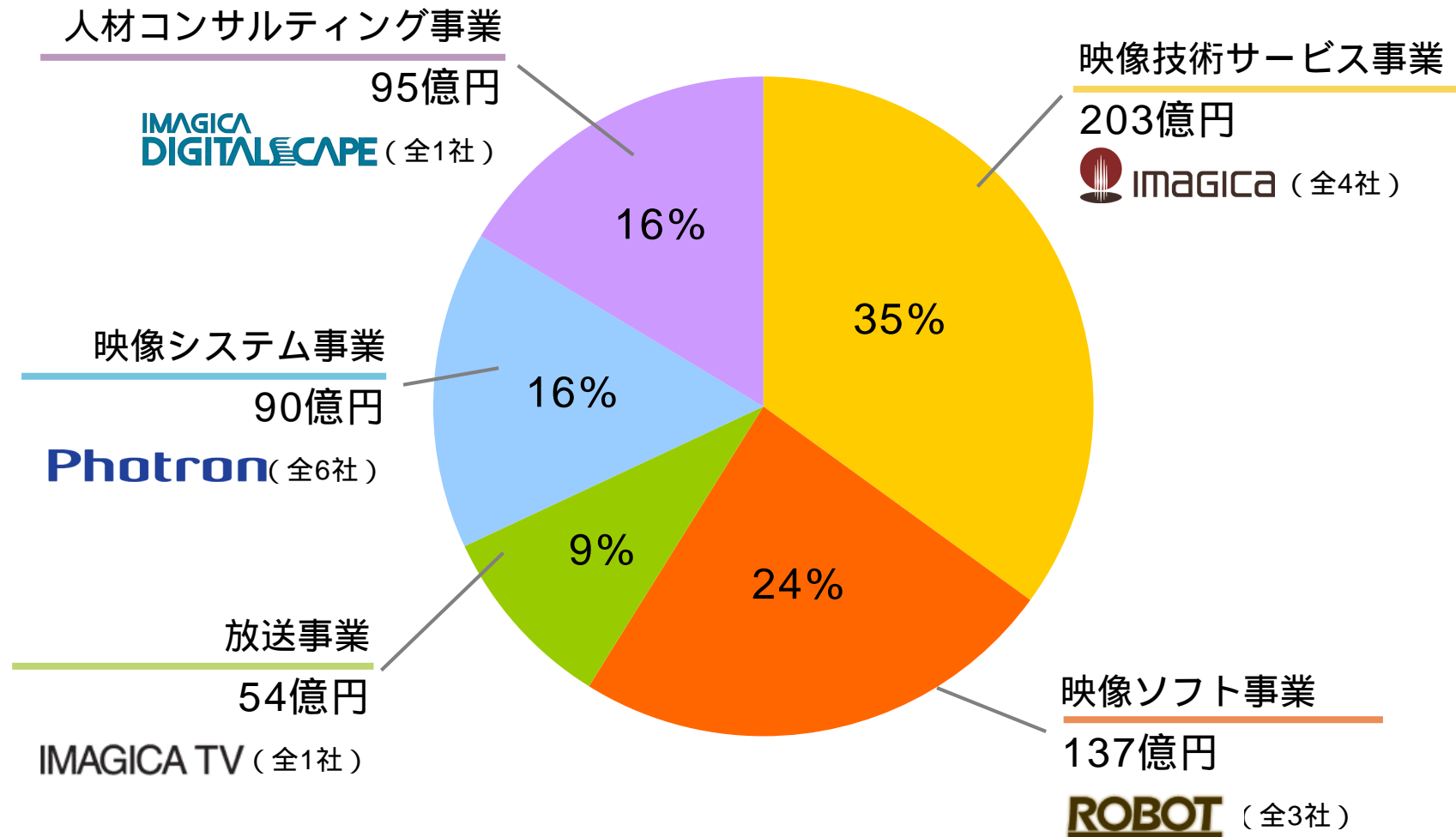
# 2013年3月期 セグメント別損益計画



各事業セグメントの売上高と営業利益を積上表示しており、売上高合計、営業利益合計とは異なります。

# 2013/3期 セグメント別売上高計画

連結売上高計画：547億円



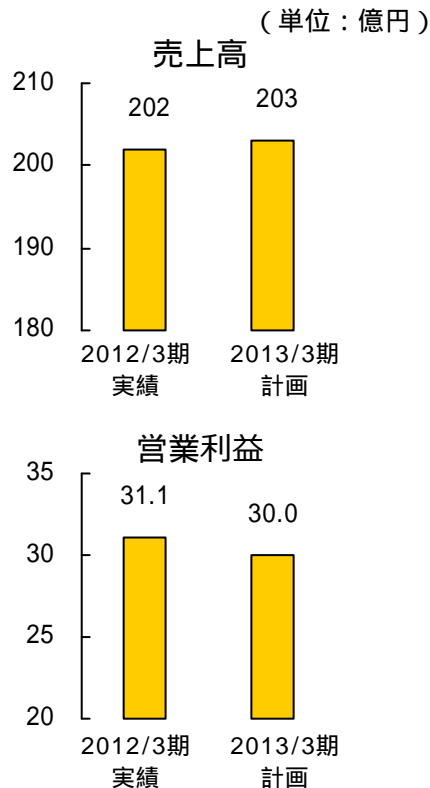
# 映像技術サービス事業



## 事業内容

- ・映画フィルムの現像、プリント、合成加工
- ・テレビ映像の編集・加工
- ・各種メディア向け技術サービス（VFX\*・CGI制作\*、3D撮影・編集等）
- ・DVD / Blu-ray Discパッケージ化

\*VFXとは、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のこと。  
\*CGI制作とは、コンピューターで生成・加工された画像の総称



### 【2012年3月期 業績】

**売上高 202億15百万円 (前年比△1.0%)**

映画フィルムの焼増が大きく減少したものの、これに替わる劇場上映用DCP (デジタルシネマパッケージ) を拡大、またテレビCMポスプロの受注増等により、堅調推移

**セグメント利益 31億19百万円 (前年比+54.9%)**

徹底したコスト管理により、利益率向上

### 【2013年3月期 計画】

**売上高 203億円 (前年比+0.4%)**

デジタルシネマ関連サービスの他、テレビ分野新拠点 渋谷スタジオの本格稼働、ファイルベース化に対応した新規サービス開発等ポスプロ事業の競争力強化策により、映画フィルム市場縮小の影響をカバー

**セグメント利益 30億円 (前年比△3.8%)**

映画フィルム市場の縮小に見合った事業体制の再構築

**フィルム事業の減少をカバーする収益を確保し、  
成長・拡大する市場で事業を確立する**

# 映像ソフト事業

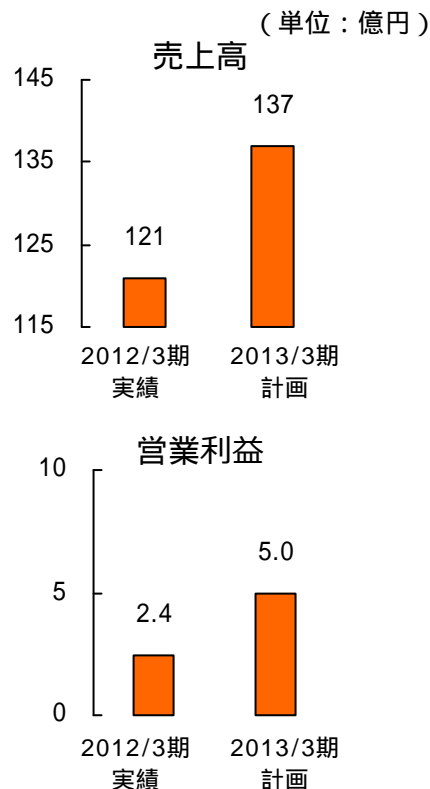
**ROBOT**

全3社

## 事業内容

- ・映画、テレビ番組、アニメ、Web映像等の企画制作
- ・テレビCM等の広告制作
- ・ミュージックビデオ等の音楽映像制作
- ・各種映像コンテンツのライセンスビジネス\*

\*ライセンスビジネスとは、著作物を利用したビジネスのこと



### 【2012年3月期 業績】

**売上高 121億68百万円 (前年比△7.4%)**

広告制作分野等で、上期は震災の影響あり、下期にかけて徐々に回復

映画制作：「ALWAYS 三丁目の夕日'64」「RAILWAYS 2」「Friends」「WILD 7」

製作出資 / 制作受託

**セグメント利益 2億46百万円 (前年比△42.0%)**

### 【2013年3月期 計画】

**売上高 137億円 (前年比+12.6%)**

CM制作受注の回復、多メディアに対応した映像コンテンツの提案

アジア市場でのコンテンツビジネス参入

映画制作：大型映画「BRAVE HEARTS 海猿」「踊る大捜査線 THE FINAL」他

**セグメント利益 5億円 (前年比+102.4%)**

ライセンスビジネス拡充

制作原価のコントロール強化

**オリジナルコンテンツを含むライセンスビジネス拡充により収益力を強化する  
多メディア展開により受注拡大する**

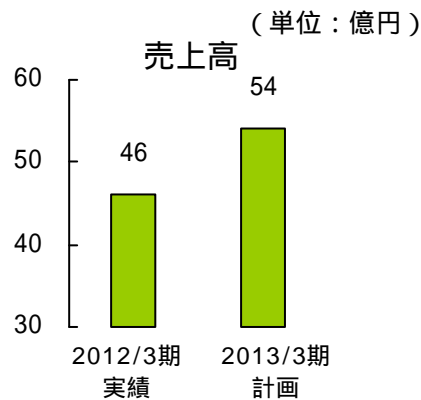
# 放送事業

IMAGICA TV

全1社

## 事業内容

- ・衛星放送（BS/CS）、CATV、インターネット放送、ホテルペイテレビ等の番組の放送、コンテンツ供給
- ・映像コンテンツの企画・制作・編成



### 【2012年3月期業績】

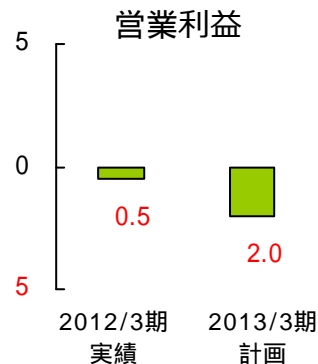
**売上高 46億72百万円 (前年比△2.5%)**

CS 3チャンネル、ホテルペイテレビは堅調に推移

スマホ等対応新規メディア事業立上げ (DVD出版等からのシフト)

**セグメント利益 △59百万円 (前年差異△3億9百万円)**

「IMAGICA BS」開局でプロモーション活動を積極的に展開



### 【2013年3月期 計画】

**売上高 54億円 (前年比+ 15.6%)**

BS放送事業の確立と、既存チャンネルの視聴料収入拡大 (e2進出)

ホテルペイテレビシェアアップ

新規メディア事業 (DAFLOID) の拡大

**セグメント利益 △2億円 (前年差異△1億40百万円)**

BS放送開局による送出コスト (衛星使用料) の増加

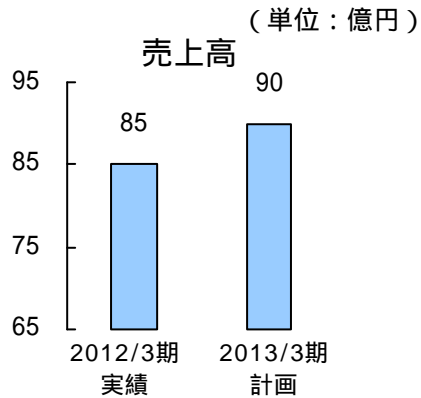
**新規BSを中心に、放送、ホテル配信、次世代メディア等の幅広いメディアでのコンテンツ配信事業を推進する**

# 映像システム事業



## 事業内容

- ・放送等プロ用映像機器の開発・製造・販売
- ・画像計測システム（高速度ビデオカメラ等）の開発・製造・販売
- ・LSIの開発・製造・販売



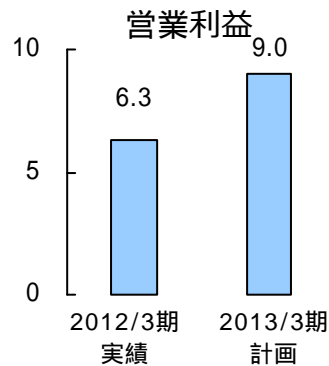
### 【2012年3月期業績】

**売上高 85億70百万円 (前年比+8.2%)**

プロ映像機器分野：競合激化のなか大手放送局案件の大型受注  
ミドルレンジ高速度ビデオカメラの一括納品達成、EUやアジアを中心に海外市場でも堅調に推移

**セグメント利益 6億32百万円 (前年比+73.2%)**

前年度と利益率の異なる製品構成、CAD新製品（バージョンアップ）販売も貢献



### 【2013年3月期 計画】

**売上高 90億円 (前年比+5.0%)**

販売体制強化・・・新システムに対応 プロ向け映像システム販売体制強化  
現地法人設立により中国市場での高速度カメラ販売体制強化  
高速ビデオカメラの新機種（ハイエンド機種）投入

**セグメント利益 9億円 (前年比+42.4%)**

2社統合により効率的体制を構築

**既存ビジネスの収益力向上に加え、グループ内でのマーケティング  
および開発を強化し、バリューチェーンの強化に貢献する**



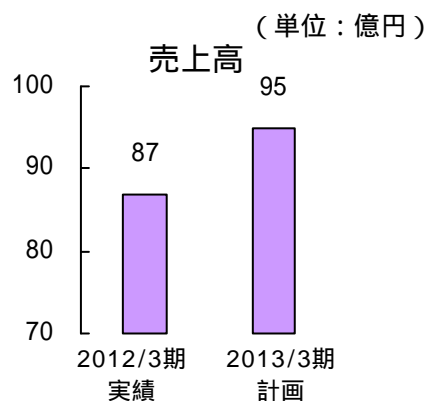
# 人材コンサルティング事業

IMAGICA  
DIGITALSCAPE

全1社

## 事業内容

- ・人材派遣、人材紹介の人材コンサルティングサービス
- ・WEB、GAME・CG等の制作受託サービス
- ・専任講師による人材育成



### 【2012年3月期業績】

**売上高 87億49百万円 (前年比+54.9%)**

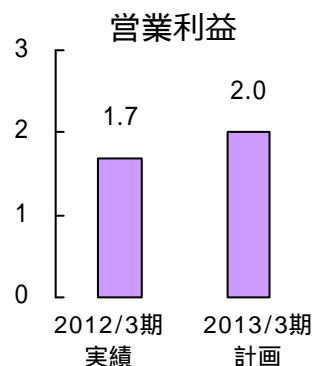
(株)IMAGICA PD (映像技術サービス事業) を合併、新たに「ポストプロダクション領域」で人材派遣を開始 (内部売上の増加)

コンテンツ制作受託分野で、ゲーム制作の一括受注など着実に獲得

**セグメント利益 1億73百万円 (前年比+385.3%)**

ゲーム制作を中心にコンテンツ制作が貢献

ポストプロダクション領域での人材派遣が貢献



### 【2013年3月期 計画】

**売上高 95億円 (前年比+8.6%)**

人材派遣事業の登録チャネル拡大と映像分野への派遣強化

**セグメント利益 2億円 (前年比+15.3%)**

新規事業の収益化と、人材派遣事業強化による利益増

映像業界のグループ内外に向けて質、量ともに  
人材の供給力を向上し、収益を拡大する

# グループ経営理念

---

# MAGIC FACTORY

**Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic**

イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、  
映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、  
人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。



---

# 参考資料

## 資料一覧

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| ・ 会社概要                     | P.28    |
| ・ イマジカ・ロボット グループの沿革        | P.29    |
| ・ 事業セグメントと事業領域             | P.30    |
| ・ 2012年3月期 年間トピックス         | P.31    |
| ・ 事業の特長（映像技術サービス、映像ソフト、放送） | P.32～36 |
| ・ 用語解説                     | P.37～38 |
| ・ お問い合わせ先                  | P.39    |

# 会社概要

2012年3月末日現在

会社名	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス JASDAQ 証券コード：6879 「情報・通信業」		
設立	1974年6月10日（1935年2月18日：極東現像所として京都・太秦で創立）		
本店所在地（登記上）	東京都品川区東五反田2-14-1		
本社所在地	東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階		
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 、 代表取締役社長 長瀬朋彦		
事業内容	映像技術サービス事業、映像ソフト事業、放送事業、映像システム事業、 人材コンサルティング事業を営むグループ会社の株式保有ならびに事業の統括		
連結売上高	508億65百万円（2012年3月期実績）		
グループ会社	連結子会社：16社（2012年4月1日時点）	従業員数	2,110名
発行済み株式総数	44,531,567株（うち自己株式数5,158,080株（11.6%）、除く自己株式数39,373,487株）		
主要株主	株式会社クレアート	62.6（%）	（注）
	株式会社三井住友銀行	2.8（%）	
	株式会社フジ・メディア・ホールディングス	1.9（%）	
	（注）発行済み株式総数に対する比率		

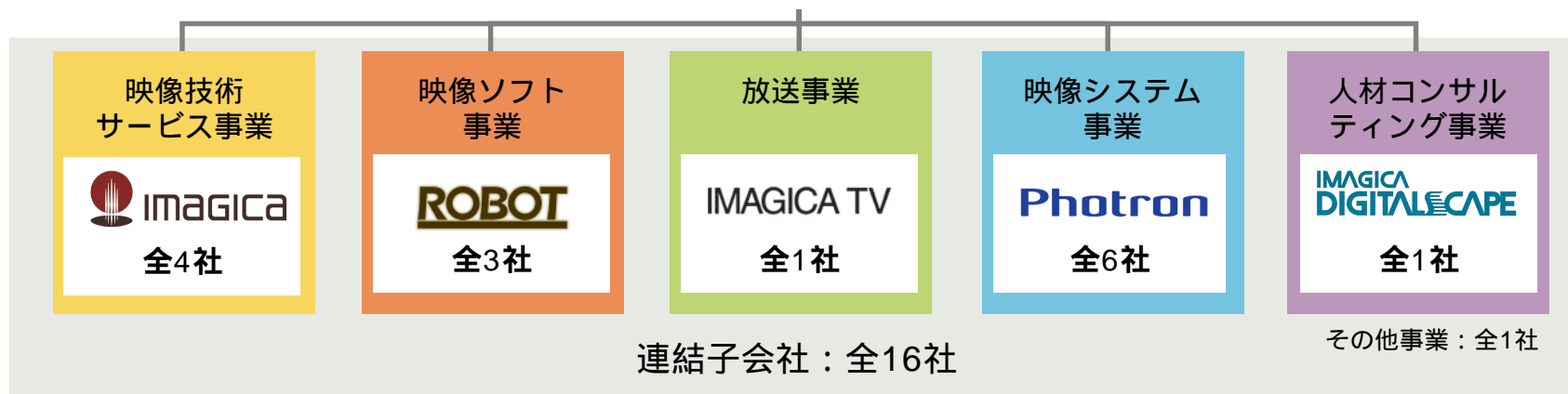
# イマジカ・ロボットグループの沿革

1935年2月	映画フィルム現像・上映用プリント事業を目的に、株式会社極東現像所として京都・太秦で創業
1942年 1月	商号を株式会社東洋現像所に変更
1986年 1月	商号を株式会社IMAGICAに変更
1992年 7月	映像機器開発・製造・販売の株式会社フォトロンへ資本参加
1996年 5月	CSデジタル放送を目的に、株式会社シネフィルを設立、同年10月より放送事業を開始
1997年 9月	株式会社フォトロンが株式店頭公開
2006年 3月	株式会社ロボットと経営統合
2006年 7月	商号を株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスに変更
2007年 2月	アニメプロデュースの株式会社ジェンコに資本参加
2009年 2月	短編アニメ『つみきのいえ』が米国アカデミー賞受賞
2009年 5月	人材コンサルティングの株式会社デジタルスケープに資本参加
2010年 9月	新規事業としてインターネットメディア会社の株式会社マッシュヴメディアネットワークを設立
2011年 4月	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスが上場企業に
2012年3月	「IMAGICA BS」開局

# 事業セグメントと事業領域

Imagica Robot Holdings Inc.

2012年4月1日現在



## 映像制作の入口から出口まで、一貫したバリューチェーンを持つグループ

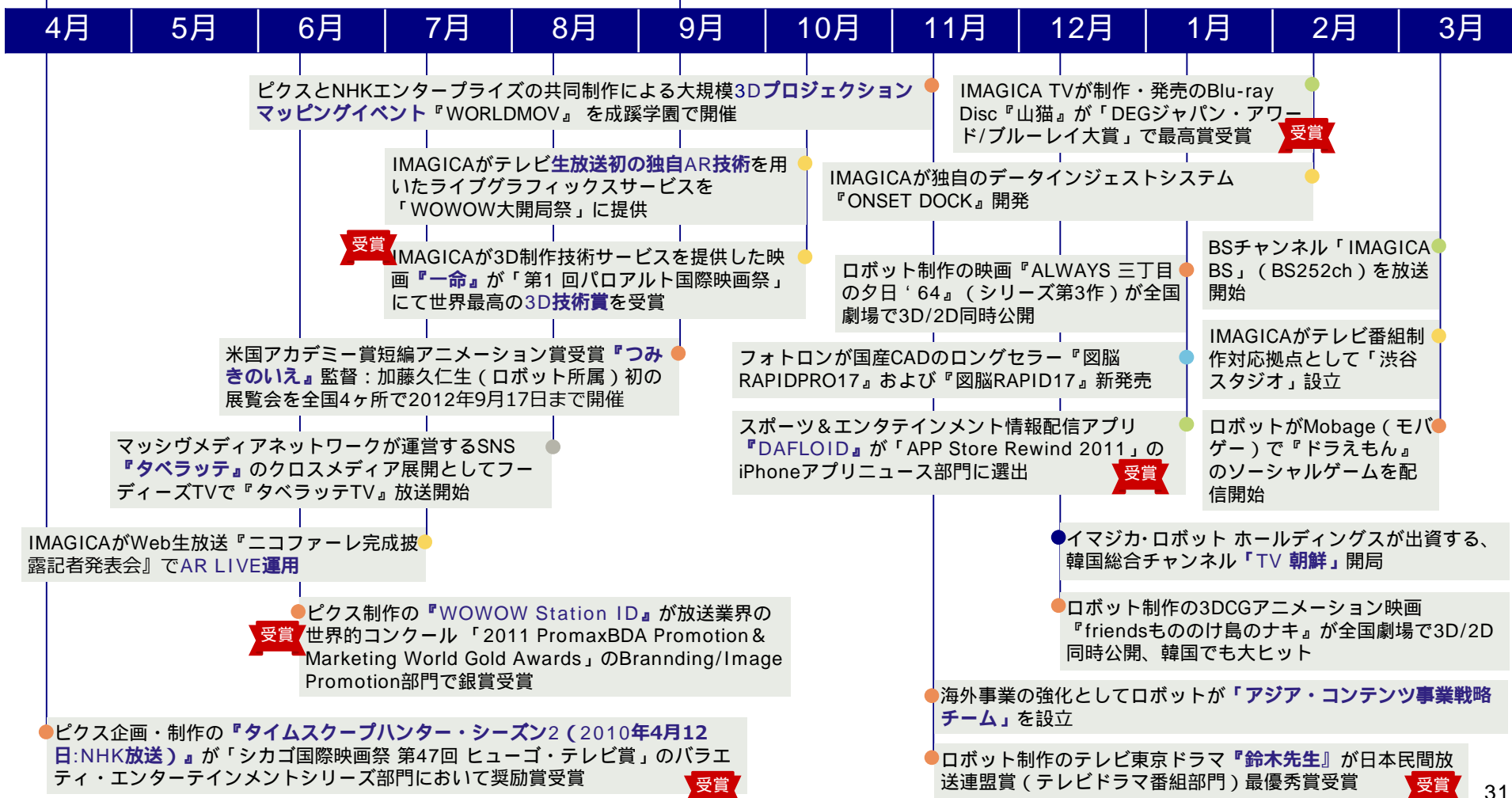


# 2012年3月期 年間トピックス

●グループ組織再編によりイマジカ・ロボットホールディングスが上場企業に

●JASDAQ市場における株式の所属業種が「情報・通信業」に変更

●本社事務所を東京都千代田区内幸町に移転





# 映像技術サービス事業の特長

## デジタルシネマの独自技術サービス

- 独自のセキュリティ管理機能を付加した「DCP」サービスで高いシェア

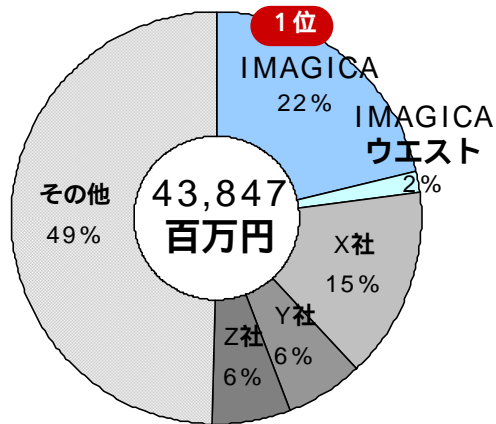
## 顧客のニーズに対応する充実した設備と人材

- テレビ局別に対応する設備
  - 湾岸スタジオ（フジテレビ内）
  - 品川プロダクションセンター
  - 赤坂ビデオセンター
  - 渋谷スタジオ 2012/3/1：オープン

## ポストプロダクションの圧倒的なシェア

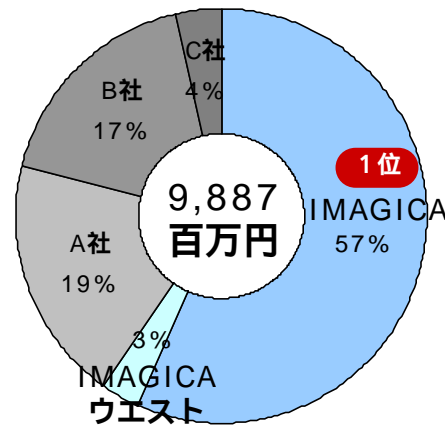
- 民放のバラエティ番組でシェアNo.1  
テレビ局内にスタジオを持つ強み

ポストプロダクション市場  
(2010年)



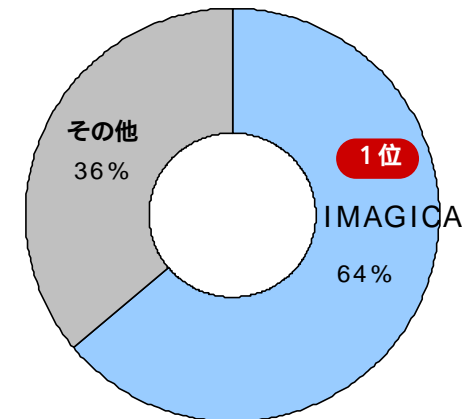
(出所) 社団法人日本ポストプロダクション協会 (JPPA) 動向調査より

映画フィルム現像市場シェア  
(2010年)



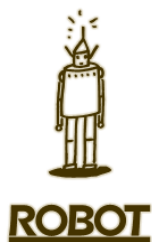
(出所) 帝国データバンク調査書より引用

DCPサービス作品数ベースシェア  
(2011年度)



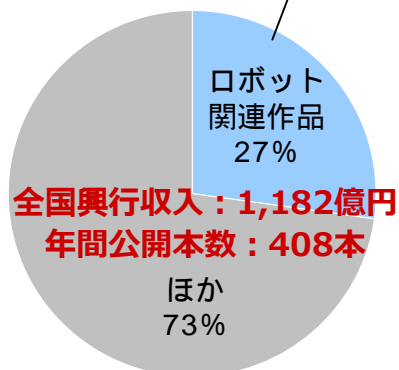
(出所) 当社調べ

# 映像ソフト事業の特長（1）



## 興行収入に占める ロボット関連作品シェア (2010年)

- 1、THE LAST MESSAGE 海猿
- 2、踊る大捜査線 THE MOVIE3
- 3、SP 野望篇、他



ロボット関連作品は、  
制作および出資を含む

(出所)  
一般社団法人日本映画製作者連盟

## ヒット作を生み出す、ロボットのディレクター陣

### ロボット所属の映画監督

20名以上の映画・CM・アニメーションディレクターが在籍

	主要監督作品
<b>本広 克行</b> 1998年より ロボットに所属	1998年 「踊る大捜査線 THE MOVIE」 <b>1位</b> 50.0億円（注1）
	2003年 「踊る大捜査線 THE MOVIE 2 ～レインボーブリッジを閉鎖せよ～」 <b>1位</b> 173.5億円
	2005年 「交渉人 真下 正義」 <b>3位</b> 42.0億円
	2006年 「UDON」 13.6億円
	2008年 「少林少女」 15.1億円
	2009年 「曲がれ！スプーン」
	2010年 「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ！」 <b>3位</b> 73.1億円
2012年 「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」（公開予定）	
<b>羽住 英一郎</b> 2000年より ロボットに所属	2004年 「海猿 ウミザル」 17.4億円
	2006年 「LIMIT OF LOVE 海猿」 <b>2位</b> 71.0億円
	2008年 「銀色のシーズン」 10.4億円
	2009年 「おっぱいバレー」
	2010年 「THE LAST MESSAGE 海猿」 <b>2位</b> 80.4億円
	2011年 「WILD7」
2012年 「BRAVE HEARTS 海猿」（7/13公開予定）	
<b>小泉 徳宏</b> 2003年より ロボットに所属	2006年 「タイヨウのうた」 10.5億円
	2008年 「ガチ☆ボーイ」
	2010年 「FLOWERS -フラワーズ」

（注1）1999年以前は配給収入実績、2000年以降は興行収入実績 33

# 映像ソフト事業の特長（2）

## ライツビジネスの多様な収益源

### 主なアニメ

- 短編アニメーション「つみきのいえ」 **米国アカデミー賞 短編アニメ賞**
  - DVD販売、絵本販売、展覧会全国開催、ビデオオンデマンド配信
- TOHOシネマズ x ロボット Gift Movie「紙兎ロペ」
  - 劇場上映、インターネット配信、DVD販売、劇場長編映画化決定

### 主なゲーム

- 携帯ゲーム「ZOO KEEPER（ズーキーパー）」
  - 有料会員（携帯・スマートフォン）、Nintendo 3DS、広告掲載
- ソーシャルゲーム「ドラえもんホッコリーナ」（モバゲー）

### 主なTVドラマ

- NHKドラマ「タイムスクープハンター」
  - テレビ放送、DVD販売、オフィシャル本販売

## エンタテインメント性の高い映像コンテンツ

### テレビCMのクロスメディア展開

- ミニ連続テレビドラマと連動したCM トヨタ自動車「SAMURAI CODE」

### ミュージックビデオ、ライブステージ映像

- EXILEや矢沢永吉、倅田來未など、大型作品を数多く手掛ける

### 3Dプロジェクション マッピング

- 広告業界やアートシーンなど世界中から注目を集める近年話題の映像技術

## 海外との共同制作プロジェクト展開強化




### 韓国テレビ局「TV朝鮮」との連携

- 2011年12月開局の韓国テレビ局と連携し、テレビドラマの共同制作および韓国作品の日本での販売等への取り組み

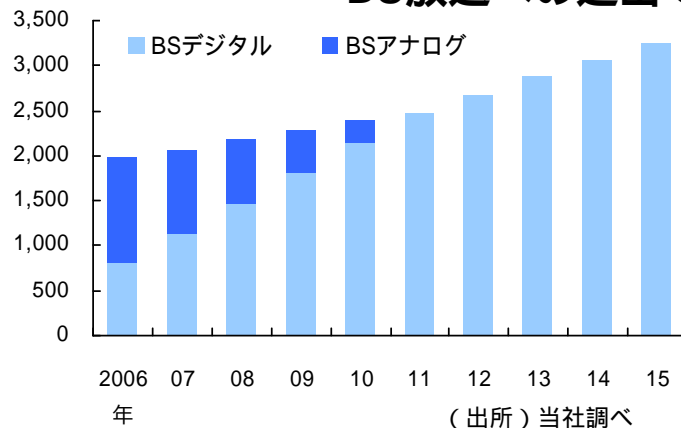
### 海外（特にアジア）とのアニメ共同制作プロジェクト進行

# 放送事業の特長（1）

## 独立系の一角として有料専門チャンネルを運営

チャンネル名	<p>IMAGICA BS 2012年3月1日開局</p>  <p>旧「シネフィル イマジカ」</p>	<p>食と旅のフーディーズTV</p> 	<p>歌謡ポップスチャンネル</p>  <p>歌謡ポップスチャンネル</p>
特長	<p>名画・名作系映画専門CH ハイビジョン放送</p>	<p>唯一の食専門Ch 特徴あるオリジナル番組</p>	<p>唯一の演歌専門Ch</p>
ターゲット	<p>幅広い年齢層の映画ファンを ターゲット</p>	<p>主婦やファミリーを ターゲット</p>	<p>40歳以上をターゲット</p>

## BS放送への進出で、視聴可能世帯数が大幅に増加



BS放送開局前は、

有料チャンネル契約世帯数 : 約418万世帯

BS放送開局後は、

契約可能と予想される世帯数 : 約2,250万世帯

(出所) 2011年9月末 当社調べ

# 放送事業の特長（2）

「B to C」ビジネスの拡大 = 新たな自社メディアを開発  
顧客データベースを企業向けマーケティングビジネスにも活用

## DAFLOID

「ダフロイド」 - 2011年サービス開始 -  
スポーツ & エンターテインメント情報配信アプリ (<http://www.dafloid.com/>)

- 広告収入（例：共同マーケティング開発）
- システム収入（例：電子マッチデープログラム受注）
- 有料課金収入
- 事業提携、など

スポーツ情報アプリ市場においてトップクラスのダウンロード数、PV（ページビュー）数を獲得 = 12万超ユーザー（2011年12月時点）

iPhoneアプリ ニュース部門「App Store Rewind 2011」受賞（2011年12月）

 **tabelatte**

「タベラッテ」 - 2011年サービス開始 -  
料理レシピのブログサイト (<http://tabelatte.jp/>)

2011年8月「フーディーズTV」とのクロスメディア展開「タベラッテTV」を放送開始

# 用語解説（1）

ポストプロダクション （ポストプロ）	撮影素材を作品の流れに沿って編集を行う、色調を調整する、CGとの合成や音声と合わせるなど、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。
ファイルベース	旧来は映像データの送付や保存にはテープを媒体として使用していたが、最近ではデジタル化に伴い、テープを使わずデータファイルの状態を送付・保存が可能となった。取り扱う手間や管理面でも便利で、放送局等でもデータ化が進んでいる。
デジタル上映	従来のフィルム映写とは異なる、映像や音声デジタルデータ化された上映方式のこと。映画作品の映像・音声等全ての情報を物理メディア(HDDなど)に格納し、それを再生することで上映する。
DCP （デジタルシネマパッケージ）	デジタル上映のために映像、音声、字幕等、全ての映画コンテンツ情報を圧縮、暗号化された上映用ファイルのこと。
AR（拡張現実）	現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術のこと。
ディレクター（監督）	制作現場を統括する責任者。企画、台本、出演者などを選び、演出、音響、照明、演技指導など、作品全ての責任を持つ。想像力や芸術的なセンスの他、統率力や判断力、長時間にわたるハードワークに耐える体力と気力も必要不可欠。
プロデューサー	映画やテレビ番組を企画、立案し、作品にする総合責任者。
ライツビジネス	著作物を利用したビジネスのこと。
ビデオオンデマンド	視聴者が様々な映像コンテンツを観たい時に視聴する事が出来るサービス。インターネットでパソコンから視聴したり、テレビ本体の受像機で視聴可能なサービスもある。
ソーシャルゲーム	SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上で提供されているゲームの総称。他のユーザーとコミュニケーションをとりながらプレイするオンラインゲームのこと。

# 用語解説（2）

クロスメディア	様々なメディアを用いて表現すること。多様なメディアを駆使して相乗効果的な伝達を行う点において、マルチメディアと区別される。
3Dプロジェクション マッピング	建物などの凹凸を3Dデータ化しておき、その表面に立体的な映像をプロジェクターで映写する技術のこと。
PV (ページビュー)	Webサイト内のページを見た回数のこと。例えば、10人がそれぞれ3ページずつ見ると、10人×3ページ=30PVとなる。
マッチデープログラム	スポーツの試合において発信される情報のこと。当日の対戦相手の紹介や過去の結果などを中心に記載したもので紙媒体や電子媒体など様々な形態がある。
高速度ビデオカメラ (ハイスピードカメラ)	高速現象を撮影することを目的としたカメラ。高速度ビデオカメラで撮影した映像を通常の速さで再生すると、スローモーションとして見ることができる。ハイスピードカメラともいう。

# お問い合わせ先

---

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス  
経営企画室

T E L : 03-6741-5742

F A X : 03-6741-5752

Email : [ir@imagicarobot.jp](mailto:ir@imagicarobot.jp)

URL : <http://www.imagicarobot.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。